

デモ - 16

漢字読み情報を利用した 音声対話による個人姓名確定方式

大森 久美子

東田 正信

NTT情報流通プラットフォーム研究所

(株)国際電気通信基礎研究所

kumiko@isl.ntt.co.jp

higashida@atr.co.jp

デモ内容

どんな日本人の名前でも、音声認識で確実に聞き取ります！
認識対象姓名：苗字18万種類、名前14万種類（読みの異なりでカウント）

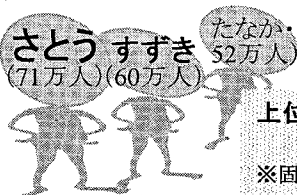
技術的特徴

「思い込み認識」と「聞いているふり認識」を併用した新対話誘導方式

「思い込み認識」の特徴

データの分布の偏りの利用して
良くある名前を優先的に認識対象に

大語彙認識対象数の見かけ上の限定
による高速、かつ高精度な応答実現



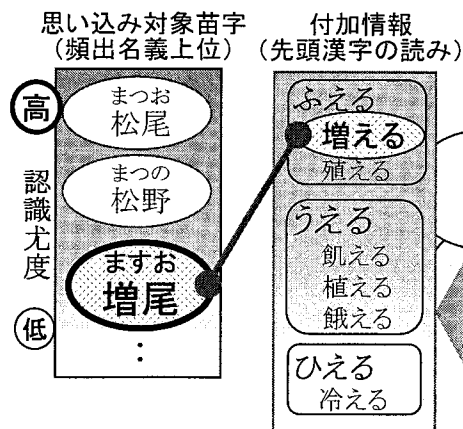
上位5,000種類の苗字で
全体*の90.8%を網羅
※固定電話個人加入者4,000万人中

・「思い込み認識」で複数候補出力
・「思い込み認識」失敗
恐らく...思い込み対象外の苗字だろう

「聞いているふり認識」の特徴

付加情報を利用者に尋ねる事で、候補の絞込みと残対象への認識処理時間を稼ぐ

複数の曖昧情報の関連性を利用した
正誤確認の繰返しによらない確定実現

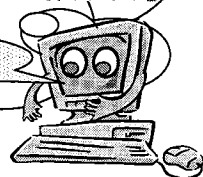


「松尾」「牧野」? or 「増野」「増尾」かもしれない...
分かっていない事を気付かれないよう
何を尋ねたら、効果的に絞り込めるだろう?

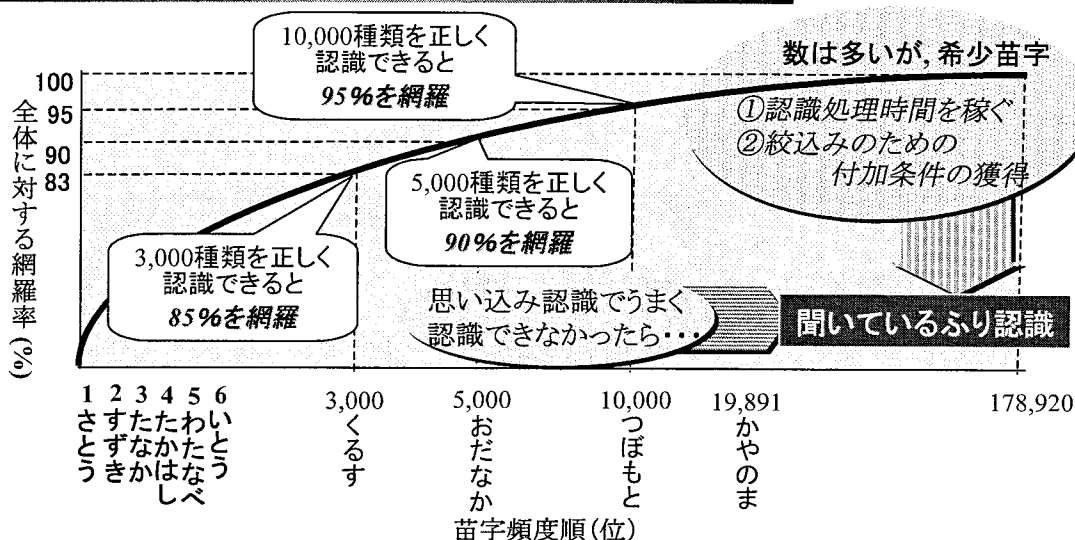
・先頭は、全候補とも「ま」
・文字数は、前候補とも「3文字」

先頭の漢字は何だろう? 「松(まつ)」? 「増(ます)」?

先頭の漢字は何と読む字?



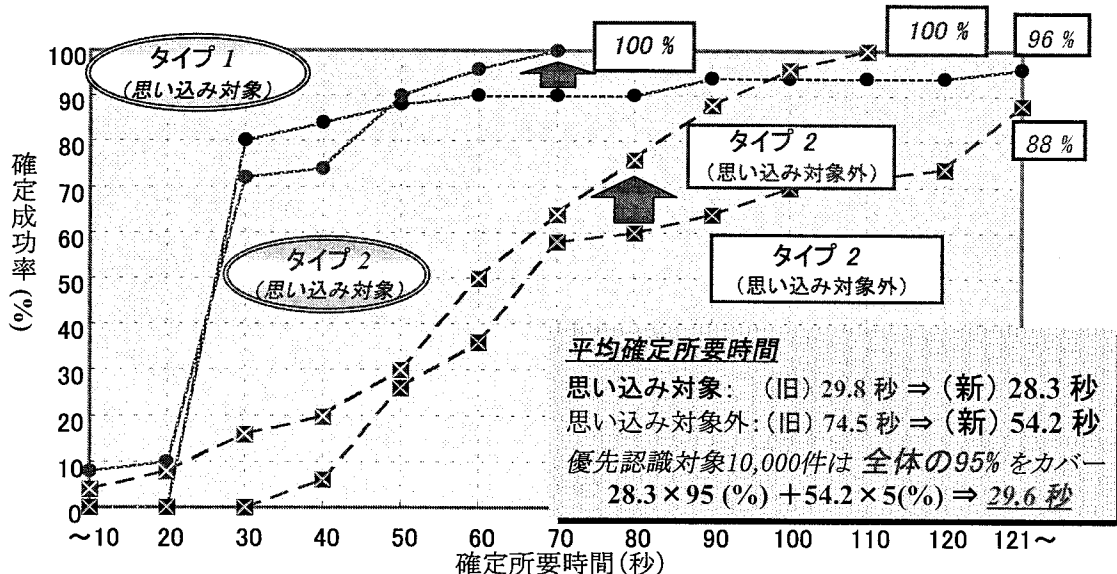
思い込み認識の採用語数と認識率の関係



聞いているふり認識における付加情報による絞込み効果

タイプ1: 「先頭文字」と「文字数」のみを利用して曖昧性を解消

タイプ2: 「先頭の漢字の読み仮名」を付加情報に追加 ⇒ 格段の精度向上を実現



思い込み対象苗字: 10,000種類(全体の95%をカバー),
 発話内容: 思い込み対象苗字200種, 思い込み対象外苗字200種